

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年9月発行

まだまだ暑い日が続いていますが、もう9月。夏休みも終わり、学校では新学期がスタートしました。「はもりあ四日市」でも登録グループの皆さんによる市民企画講座「さんかくカレッジ2017」が10月からスタートします。今月号から順次ご紹介をしていきますのでどうぞご期待！ぜひご参加ください。

内閣府が男性に向けてキャンペーンをしています。 その名も「おとう飯」

内閣府男女共同参画局では、平成29年3月に「男性の暮らし方の意識の変革に関する専門調査会」から「様々な媒体を活用した広報の展開」や「男性の家事・育児等への参加機会の創出」に取り組むよう提言されたこと等を受け、子育て世代の男性の家事・育児等への参画促進を進めています。そのなかで今回は、男性の料理参画の促進を目的として、「おとう飯（はん）始めよう」キャンペーンを実施しています。

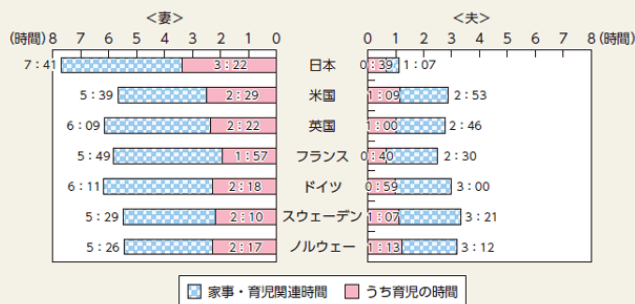


【内閣府キャンペーンロゴ】

●「おとう飯」キャンペーン実施の背景にある 男性、女性における家事・育児関連時間

総務省「社会生活基本調査（平成23年）」によると、6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連に費やす1日当たりの時間は1時間7分で、他の先進諸国と比較すると低水準となっています。反対に、妻においては7時間41分で、他の先進諸国と比較すると高水準となっています。このことから、日本では未だ「男は外で働き、女は家庭を守る」という『固定的役割分担意識』が根強く残っていると云えます。

1-3-8図 6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（1日当たり、国際比較）



(備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成23年)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2015) 及び Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。
2. 日本の値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間（週全体平均）。

平成29年版「男女共同参画白書」より

●男女共同参画社会の実現に向けて

男性が家事・育児等へ参画することは、男性にとって多くのプラス面が挙げられます。家庭生活においては、夫婦間の満足度の向上や子どもへの好影響などにつながります。また、職業生活においては仕事を進める上で求められる能力（段取り力、コミュニケーション力など）の向上や職務における視野を広げるなどにつながります。さらに、女性にとっても、家事・育児等が軽減されることにより、仕事と家庭の両立がしやすくなり、あらゆる分野で活躍しやすくなります。

「男は外で働き、女は家庭を守る」という固定的役割分担意識にとらわれず、性別にかかわらず個性と能力を十分発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、市でも様々な取り組みを進めていきます。



事業報告

夏休み子どもさんかくカレッジ2017開催しました

8月17日に第1弾として【キラキラクラッシュゼリーを作ろう】を開催しました。初めに、サイダーにシロップで色をつけたゼリーとミルクゼリーの2種類を作り、ミルクゼリーの上に崩したサイダーゼリーをのせて、フルーツや生クリームをトッピング、ボリュームもたっぷり、見た目も涼やかなゼリーができあがりました。アンケートでは「冷やしたゼリーをつぶすのが楽しかった」「混ぜたり、器に入れるのも楽しかったし、味もしゅわしゅわしていて美味しかった」と大好評でした。また、ちよこっとさんかく教室では、人形劇や絵本の読み聞かせを通して、様々な家族の形や、いろいろな考えや思いがあることをみんなで一緒に考えてみました。



翌18日には、第2弾として【ハッピーメガネでしあわせになろう】を開催し、前半では、虹の色や形についての実験をしながら、虹の世界について学びました。後半はメガネを作り、色々な光の世界を体験しました。メガネをかけてのぞいた不思議な世界に、子どもたちは大興奮でした。ちよこっとさんかく教室では、科学者として研究に生涯を捧げ、女性で初となるノーベル賞を受賞したキュリー夫人についてのお話をいただきました。アンケートでは、「光がキレイでテレビなどの仕組みがわかってよかった」「虹のことをいっぱい知れることができて楽しかった」と、うれしい声をたくさんいただきました。

【ゼリー作りの様子】



【虹実験の様子】



た不思議な世界に、子どもたちは大興奮でした。ちよこっとさんかく教室では、科学者として研究に生涯を捧げ、女性で初となるノーベル賞を受賞したキュリー夫人についてのお話をいただきました。アンケートでは、「光がキレイでテレビなどの仕組みがわかってよかった」「虹のことをいっぱい知れることができて楽しかった」と、うれしい声をたくさんいただきました。

事業報告

さんかくカレッジ2017「低栄養予防！介護食を作ろう！」 ～現役世代のための介護食入門教室～ 終了しました！

8月19日、26日の2週連続で、男性向け料理教室「低栄養予防！介護食を作ろう！」を開催しました。男性向け料理教室は、男性の家事・育児分野への参画を目的として行っており、今回は、誰もが担う可能性がある「介護」の内容と絡めて実施しました。



当日は、「男女共同参画」や「高齢期の食事と栄養」についての勉強の後、グループ内で役割を分担しながら実際に調理し、その味を確かめました。料理をあまりしない方も複数見えましたが、栄養のある食事が簡単に作れることを知った参加者から、「家でも作ってみたい」との感想をいただきました。



【講座の様子】

事業報告

ワーク・ライフ・バランスに関する情報共有・交換会議を開催しました!!

ワーク・ライフ・バランスに取り組まれている企業が、ワーク・ライフ・バランスに関する情報や取り組み上の課題を共有・交換し、また、専門家の助言を得ることで、さらに取り組みを推進できるよう、企業の方に集まっていただく会議を8月18日に開催しました。

昨年度から始めた事業で3回目の開催になりましたが、今回は昨年度に参加された企業のフォローアップも兼ねて、参加していただいた13社のうち8社にお集まりいただき、会議を開催しました。

会議は、各社のこれまでの取り組みと、これから取り組みたいことを5分程度で発表いただいた後、質疑及び助言者からアドバイスをいただきました。また、助言者から全国で取り組んでいる企業の事例を紹介いただきました。

この会議の良さをより多くの企業の皆様にご覧いただくため、拡大公開版を秋頃に開催しようと、現在企画しています。決まり次第お伝えしていきますので、関心のある企業はぜひともご参加ください。



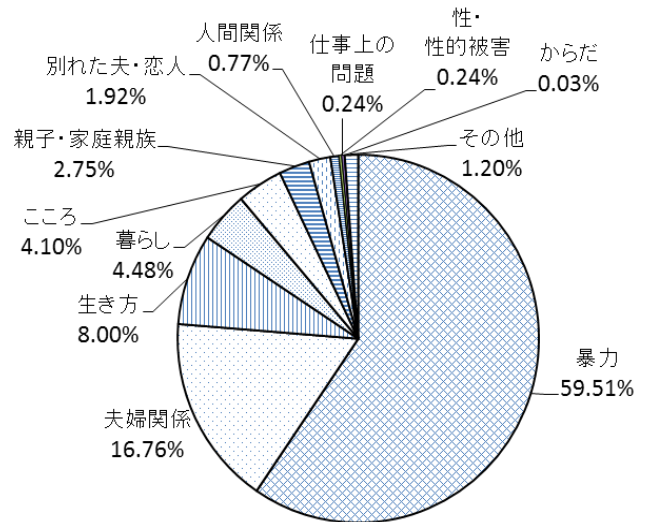
相談室から

平成28年度の“女性のための相談”ミニレポート

平成28年度の相談を、『声なき声を聴く 2016年度(平成28年度)』にまとめました。

平成28年度は、3,752件の相談がありました。暴力についての相談が最も多く、そのほとんどがDV(夫やパートナー等からの暴力)で相談全体の約60%を占めています。その次に多いのは、夫婦関係(約17%)で、離婚や別居についての相談が多くなっています。

詳細については、「はもりあ四日市」のホームページで、『声なき声を聴く 2016年度(平成28年度)』をご覧ください。



【相談主訴別割合】

◆◆◆相談員から◆◆◆

相談の電話が鳴ります。「はい、はもりあ四日市相談室です」、ここから相談が始まります。

「こんなことでも、いいですか」と話し始められる方が、多くいらっしゃいます。電話の向こうから発せられる女性たちの抱える問題は、個人の問題であると同時に、ここ四日市に生活する多くの女性たちに共通する社会の課題として受け止めています。相談の電話をかけていただくのは、勇気があることと思いますが、ひとりで抱え込まず、一緒に考えさせてもらえたらと思っています。

今日のキーワード じこぞんちょう 自己尊重

「あなたの思いは言葉にできていますか？」
四日市市男女共同参画センターの講座(9月開講)には「女性のための自己尊重講座」があります。
自己尊重とは、どういうことなのでしょう。読んで字の如く、自己を尊重するということです。言い換えるならば、自分の存在を認め、大切にすることです。皆さんは、他人の目が気になって自分の考えをうまく伝えられず自分を抑えてしまうこと、ありませんか? 「自分の意見や気持ちを相手に伝える」、これは簡単なようで、なかなか難しいことです。自分の考えを伝えることで、わがままだと思われることもあるかもしれません。たしかに一方的に伝えるだけでは、そのように思われるかもしれません。“自分も相手も大切に、相手の考えに耳を傾け、自分の考えも伝える”それができたらいいですね。そのためには、自分の中にある強さも弱さもひっくるめて自分だと、自分の存在を認め、自分を好きになることから始める。そして自分の気持ちを言葉にして相手に伝えること。それが自己を尊重するということではないでしょうか。そしてそれは、性別に関わらず、お互いを尊重しつつ、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現にも繋がっていくことだと思います。

男女共同 あい さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

今回は、私(44歳男性)の子育て奮闘記です。
R君とK君は5歳に、S君は9カ月になりました。
先日、幼稚園のオープンデーに参加しました。オープンデーとは、登園から降園までずっと1日参観することができる行事で、今回はR君のクラスを参観しました。(K君のクラスには別の日に妻が参観しました。)今年度から、R君とK君は別々のクラスになり、一人でもうまくやっているかなと少し心配をしていたのですが、お友だちと衝突する場面はあったものの、仲良く遊んでいたりと、発言もできていたり、身の回りのことや片付けもできていたり、先生との約束も守っていたりと、家にいる時よりもしっかりしているなぁと感じることができ、安心しました。

この日のオープンデーには、年中、年長の保護者の方が自分を含めて7人来られていたのですが、なんと月曜日にも関わらずその内の6人がお父さんでした。育児に積極的に関わっているお父さんが増えてきているのかなぁと感じた1日でもありました。

【お父さんとの約束も守ってもらいたいと思っている担当:Y】

募集中! さんかくカレッジ2017市民企画講座 受講者募集中

「じいの出番だ! まかせとき!」 シニアサークル「男の囲炉裏端」の会 企画・運営

定年後の時間を孫育てに!! 楽しい遊びや料理、絵本の読み聞かせなど孫育ての技を身に着けませんか?

3 回連続講座

第1回 10/7(土)
「じい! 歌の出番だよ!
～楽器を一緒に作ろう」
講師 市川 美智子さん
ぜひお孫さんも一緒に参加して下さい(年少～小学3年生程度)

第2回 11/25(土)
料理教室
「大好き! じいのからあげ丼」
講師 田中 宣子さん
おいしいからあげ丼を作りましょう。じいの腕の見せ所!

第3回 12/9(土)
紙芝居と絵本の読み聞かせ
「今日はどんなお話かな?」
講師 松岡 由香さん
紙芝居や絵本の読み聞かせのコツを学びましょう

対象 市内に在住の60歳以上の男性で、全3回参加できる方
場所 本町プラザ3階「はもりあ四日市」会議室・調理室
時間 第1回、第3回は10:00～12:00 第2回のみ9:30～12:30
参加費 全3回通して1,000円 定員 12名(先着順)
持ち物 第2回のみエプロン、三角巾、布巾、筆記用具、上履き(必要な方、スリッパはあります)
その他 託児有(6カ月～小学3年生程度まで、無料ですが要事前申込み)
申込み 講座名・参加者名・住所・電話番号・託児希望の場合は預ける子の名前と年齢を電話かFAX、またはEメールで「はもりあ四日市」まで



平成30年2月3日(土)～4日(日)

はもりあフェスタを開催します!

今年度のテーマは

「はもりあフェスタ」を、平成30年2月3日(土)・4日(日)に開催することが決定しました。今年度は例年の3日間ではなく、2日間の開催になります。開催期間は短くなりますが、内容はこれまで以上に充実したものになるよう、登録グループとはもりあ職員で構成されている「はもりあフェスタ企画運営委員会」で企画を検討しています。

今のところ、チャレンジショップと10以上のワークショップを開催することが決まっています。

詳細等につきましては、決まり次第、この「はもりあ」でお伝えしていきます。お楽しみに!

もう1歩踏み出そう

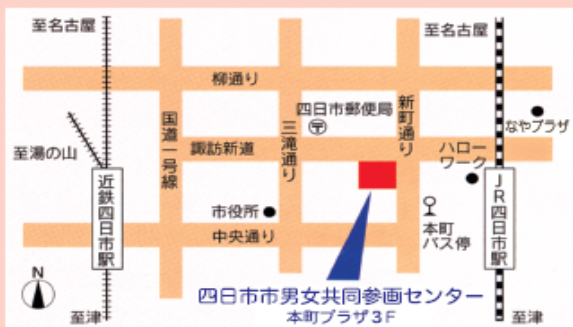
子育て 防災
ひとり暮らし 貧困
仕事 介護 DV
家事労働 セクハラ...

※米を見据えて 男女共同参画のまちづくり

です。

◎◎◎あとかき◎◎◎

9月と言えば、防災の日、敬老の日、秋分の日、秋のお彼岸、お月見などが連想されますが、今年のお月見(中秋の名月)は、10月4日だそうです。お彼岸にはお墓参りをし、お仏壇へのお供え物は、おはぎか彼岸団子にするか迷うところですが、このお彼岸で暑さとはバイバイしたいものです。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml